

日付 6/6

正徳 5 年 1715 年 6/6 万役山事件

正徳 5 年 1715 年 6/6 萩本藩領西久米村の百姓喜兵衛ら親子 3 人が田の草を取つての帰り田の畔を修理するために、墓ノ尾山(通称、万役山)の小松 1 本を持ち帰ろうとしました。

それを見とがめた見回り中の徳山藩、足軽里右衛門達と争いとなり、

喜兵衛が殺され他の一人が傷を負いました、

この松一本の盗伐事件が本藩と徳山藩の領界論争を生じ両藩の紛争になり、ついでに徳山藩(改易)(御家取りつぶし)の大事へと発展しました。

本藩は徳山屋敷を接收、里右衛門の処刑、家老奈古屋玄蕃以下 5 人、側用人 4 人を紛争に当たって藩主の補佐を怠った罪によって流罪にし、第 3 代藩主元次は出羽国新庄藩へお預かりとなりました。

万役山は桜木小学校の南側にある小高い丘です。



